

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2024年第52週 2024年12月23日（月）～2024年12月29日（日）2025年1月8日作成

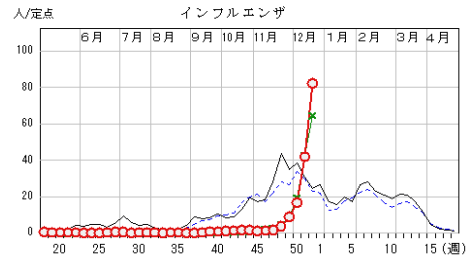
☆定点^{*}報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1）インフルエンザ

第52週の報告数は5759人で、前週より2822人多く、定点当たりの報告数は82.27であった。

年齢別では、10～14歳（1093人）、40～49歳（492人）、50～59歳（378人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（144.00）、県央保健所（115.55）であった。

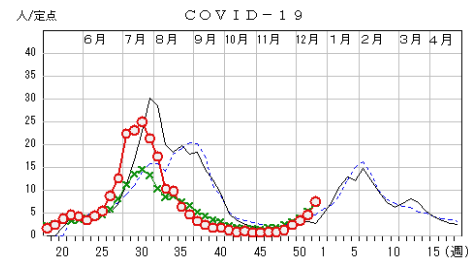


（2）新型コロナウイルス感染症

第52週の報告数は529人で、前週より204人多く、定点当たりの報告数は7.56であった。

年齢別では、80歳以上（93人）、70～79歳（80人）、40～49歳（65人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、壱岐保健所（22.00）、対馬保健所（13.67）、上五島保健所（12.33）であった。

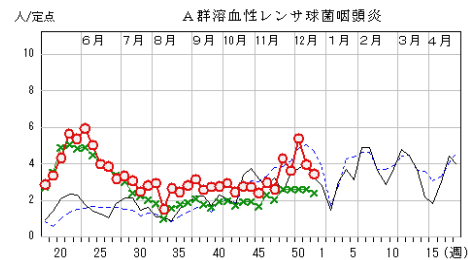


（3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第52週の報告数は151人で、前週より23人少なく、定点当たりの報告数は3.43であった。

年齢別では、6歳（20人）、5歳（18人）、10～14歳（17人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（18.20）であった。



○ 当年(長崎県) 前年(長崎県)
 × 当年(全国) 前年(全国)

※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【インフルエンザ】

第52週は5,759人の報告があり、定点当たり報告数は「82.27」で、**現行の調査が開始された1999年以降で最多となりました**。県内では、第41週に流行期に入り、第50週に流行注意報、第51週に流行警報が発表されています。地区別にみると、10保健所中8保健所で警報レベル、1保健所で注意報レベルの報告数となっています。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起り、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

第52週の報告数は529人で、前週より204人多く、定点当たり報告数は7.56でした。地区別では、壱岐地区（22.00）、対馬地区（13.67）、上五島地区（12.33）は他の地区より多くなっています。今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第52週の報告数は151人で、前週より23人少なく、定点当たりの報告数は3.43でした。地区別にみると県南地区（18.20）は、警報レベルの報告数となっています。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。

☆トピックス：インフルエンザが流行しています

第52週は5,759人の報告があり、定点当たり報告数は「82.27」で、**現行の調査が開始された1999年以降で最多となりました**。県内では、第41週に流行期に入り、第50週に流行注意報、第51週に流行警報が発表されています。

地区別にみると、五島、上五島地区を除くすべての地区で警報レベルの報告数となっています。

年代別では、10歳未満（41%）、10代（25%）が多くなっています。

また、長崎県環境保健研究センターにおいて、2024/2025シーズンに搬入された検体から、インフルエンザA/H1pdm09の遺伝子が検出されています。

多くの学校で新学期を迎え、学校での感染拡大が懸念されることから、より一層の注意が必要です。今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

発生状況について、長崎県感染症情報センターホームページ内「インフルエンザ」にも掲載しています。

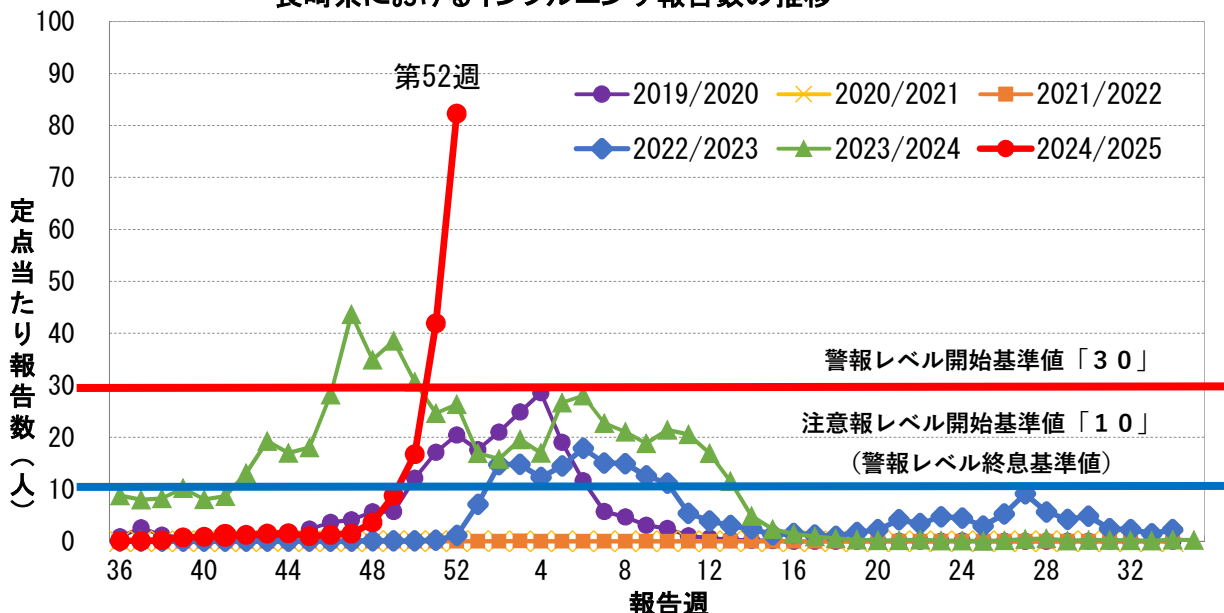
（参考）厚生労働省 インフルエンザ総合ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html

（参考）長崎県地域保健推進課 インフルエンザ流行警報の発表

<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/701403/index.html>

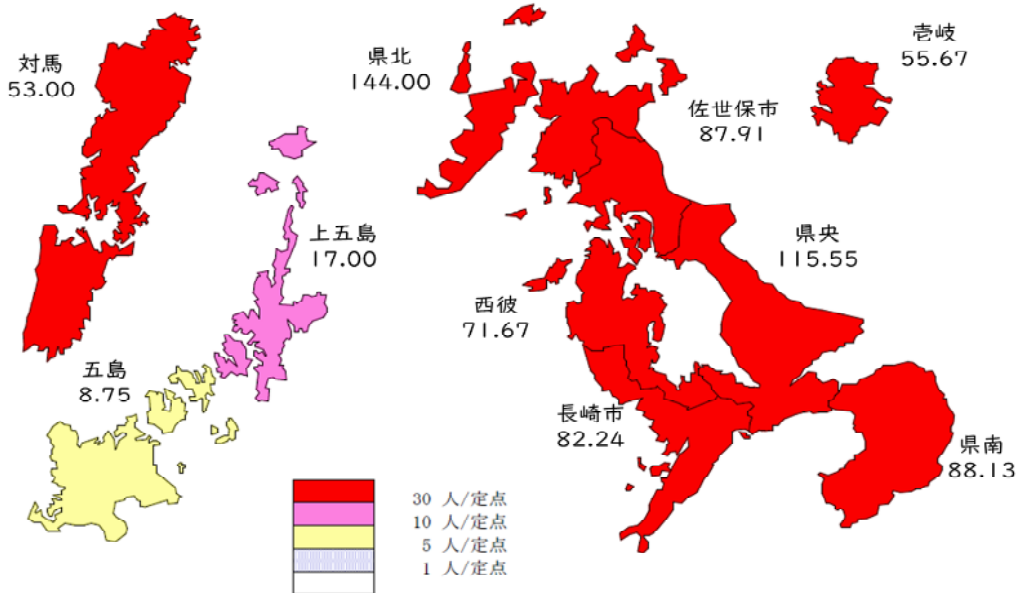
長崎県におけるインフルエンザ報告数の推移



インフルエンザの年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	2385	1427	211	345	492	378	255	168	98
報告割合(%)	41.4	24.8	3.7	6.0	8.5	6.6	4.4	2.9	1.7

インフルエンザ 保健所別定点当たり報告数



☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

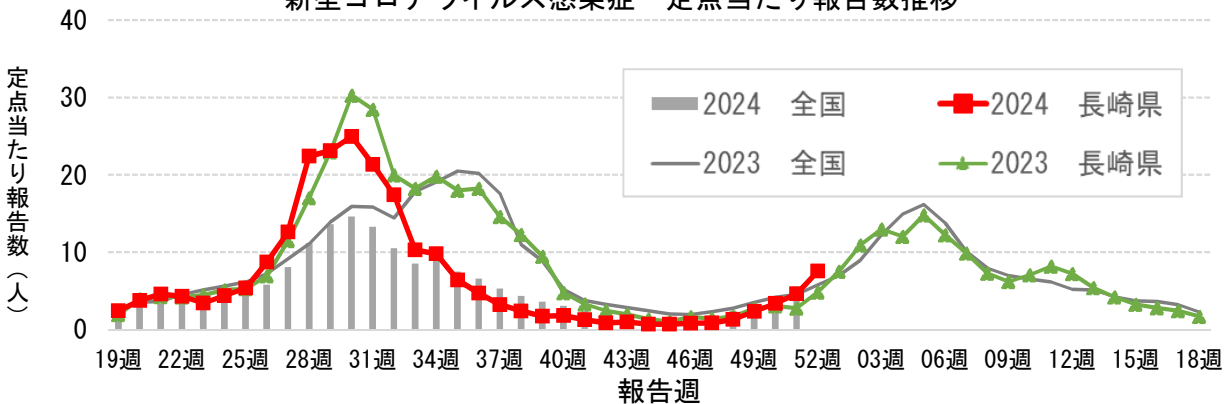
新型コロナウイルス感染症の長崎県における第52週の定点当たり報告数は「7.56」で、8週続けて増加しています。

地区別にみても、対馬地区を除くすべての地区で前週より増加しました。

年代別にみると、80代以上（18%）、70代（15%）、40代（12%）の順に多くなっています。

昨年は年末年始にかけて報告数の増加がみられましたので、引き続き注意が必要です。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



新型コロナウイルス感染症の年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	44	45	46	41	65	55	60	80	93
報告割合(%)	8.3	8.5	8.7	7.8	12.3	10.4	11.3	15.1	17.6

◆全数届出の感染症

2類感染症：結核 患者 男性（80代以上・1名）
無症状病原体保有者 女性（40代・1名）

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 患者 女性（30代・1名、70代・1名）

4類感染症：報告なし

5類感染症(全数把握対象)：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者 女性（60代・1名）
梅毒 無症状病原体保有者 女性（20代・2名）

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第47～52週、11/18～12/29)

疾患名	定点当たり患者数					
	47週	48週	49週	50週	51週	52週
	11/18～	11/25～	12/2～	12/9～	12/16～	12/23～
インフルエンザ	1.44	3.64	8.79	16.73	41.96	82.27
新型コロナウイルス感染症	0.87	1.30	2.36	3.37	4.64	7.56
RSウイルス感染症		0.07	0.02	0.16	0.05	0.09
咽頭結膜熱	0.34	0.25	0.45	0.30	0.14	0.30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.59	4.30	3.61	5.39	3.95	3.43
感染性胃腸炎	1.64	2.34	3.18	2.61	3.55	2.89
水痘	0.27	0.30	0.25	0.25	0.36	0.34
手足口病	1.98	1.50	1.16	0.70	0.43	0.30
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.07	0.20	0.11	0.11	0.25	0.27
突発性発しん	0.36	0.39	0.23	0.25	0.32	0.34
ヘルパンギーナ	0.05	0.09	0.11	0.02	0.02	0.02
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		0.05	0.02		0.02	
急性出血性結膜炎	0.13	0.13	0.13		0.75	0.25
流行性角結膜炎	0.13	0.38	1.75	0.50	2.25	2.50
細菌性髄膜炎					0.08	
無菌性髄膜炎		0.08				
マイコプラズマ肺炎	2.17	2.25	1.25	1.00	0.67	1.17
クラミジア肺炎（おウム病は除く）				0.08		
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08			0.08		0.08

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第52週、12/23～12/29) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾患名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	82.27	87.91	82.24	55.67	71.67	115.55	88.13	144.00	8.75	17.00	53.00
新型コロナウイルス感染症	7.56	5.00	7.18	22.00	5.00	5.45	10.00	7.00	2.50	12.33	13.67
RSウイルス感染症	0.09		0.10				0.20				1.00
咽頭結膜熱	0.30		0.80		0.25		0.40				1.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.43	1.33	1.30		1.75	0.71	18.20	2.67	3.33	1.00	3.50
感染性胃腸炎	2.89	5.33	2.30		2.25	5.14	1.00	7.33			
水痘	0.34	1.00	0.50			0.29	0.20	0.33			
手足口病	0.30	1.33	0.30						0.33		0.50
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.27	0.33	0.30		1.25			0.33			0.50
突発性発しん	0.34	0.83	0.50		0.25	0.29		0.67			
ヘルパンギーナ	0.02					0.14					
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）											
急性出血性結膜炎	0.25						2.00				
流行性角結膜炎	2.50						20.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	1.17		3.33		1.00	1.00	1.00	1.00			
クラミジア肺炎（おウム病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.08					1.00					